

講演会参加費の価格改定のお知らせ

公益社団法人 日本船舶海洋工学会
講演会担当理事，講演会企画委員会

令和4年春季講演会は5月26日（木），27日（金）の2日間にわたり広島国際会議場で盛況に開催されました。COVID-19 感染が収束していない中でしたが，約300名の参加者登録をいただき，半数の約150名が対面での参加，残りの約150名がオンラインで参加されました。参加された方々には御礼申し上げます。

講演会企画委員会では，学会の講演会活動を通じて学会員に対するサービス向上を達成すべく，前回よりハイブリッド開催を企画，運営させていただきました。ハイブリッドは，オンサイト（対面参加）とオンライン（リモート参加）を組合せた開催形式で，現地参加が難しい場合でも現地参加と同じクオリティで講演会に参加できるように配慮いたしました。また，講演会は4-5会場のパラレルセッションであることから同時開催の裏のセッションの参加聴講ができないことを解決すべく，講演会の「見逃し配信」のサービスも試みました。このサービスは，講演会期間だけでなく，利用者の視聴の利便性を図るために講演会終了一週間後に10日間の視聴期間を設け，参加登録していただいた多くの学会員の皆様に配信させていただきました。

前回の講演会に対するアンケートより，前回導入した「ハイブリッド開催+見逃し配信」の企画は，講演者や講演会参加者にとっても評判が良いと集計結果を得ており，今後の講演会の基本的なスタイルとして継続して採用していくことを検討しております。

■「ハイブリッド+見逃し配信」のメリット

上述のように，ハイブリッド開催により，対面形式の参加に加えてオンラインによる講演会から離れた遠隔地からの講演会参加が容易になるメリットがございます。また，見逃し配信により講演会のプログラム上で時間的に重なっていた講演を試聴することができます。講演会では見逃し配信の期間も講演会の期間として含まれますので，講演会参加者の方は見逃し配信期間中ではいつでも，どこからでも講演会の講演を自由に視聴できます。

■受益者負担の考え方

「ハイブリッド開催+見逃し配信」の企画におきまして，「オンライン配信+見逃し配信」のためのビデオ撮影と録画ビデオの配信に係る諸費用（業者委託費，前日機材設置の為の会場費，学

生アルバイト費など)がかかり、講演会予算を圧迫する要因となっております。このような状況を鑑み、講演会企画委員会および学会理事会では「ハイブリッド開催+見逃し配信」に係る費用負担の適正化を議論し、講演会参加費の見直しを検討させていただきました。

最終的に学会理事会ではサービスの受益者負担が適切であると考え、受益者負担の考え方で講演会参加費を見直すことになりました。具体的な金額としましては、令和4年春季講演会(広島)でのオンライン参加者数とサービスの実施にかかった費用を勘案して、受益者負担として6,000円/参加者の増額が適切な金額であることを算出いたしました。

下記に今回の参加費の変更に関して整理させていただきます。

■正会員(一般)の参加費:8,000円,学生会員の参加費:0円

一般の正会員の参加費を6,000円増額する。この増額分は、「ハイブリッド+見逃し配信」を実施するために必要な原資として使用する。学生会員の参加費については変更しない。

■終身会員および70歳以上の名誉・功労会員の参加費:0円

終身会員および70歳以上の名誉・功労会員の参加費については変更しない。

■シニア会員の参加費:4,000円

シニア会員の参加費を新たに設定した。費用負担を可能な限り軽減することを目的に検討した。(今までは正会員と同額)

■非会員のOS講演者の参加費:8,000円

非会員のOS講演者は、一時的な正会員の方と同様であると見做し、参加費を設定した。

■非会員(一般)の参加費:15,000円,非会員(学生)の参加費:8,000円

非会員の参加費については、「ハイブリッド+見逃し配信」にかかる費用だけでなく、講演会を実施するにあたり必要な経費を負担していただく。正会員が負担する学会費の年会費(8,500円)を勘案し参加費を算出した。また、非会員の学生負担については、非会員のOS講演者と同等として判断し、参加費を設定した。

以上